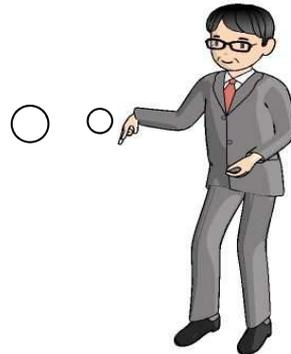


みらいエコリフォームセンター 2月号VOL.62

東雲だより2016

春一番が吹き、暖かい日が
少しずつ増えていきますよ～



今月のトピックス

ゼロエネルギーハウス特集

- ①1月研修会および見学会報告
- ②ゼロエネルギーハウス(ZEH)特集
- ③荒尾先生寄稿「マンションの住み替えチェック7」
- ④ラボ紹介「東雲ゼロエネルギーハウス」



色鮮やかなスマートク
ロックを設置しました
電気の使用状況を色で
表示します

1月研修および見学報告



エアコン研修



システムバス研修



石友RF様配管研修



都省エネ施工講習

1月研修会、見学会の実績をご報告します

- 1/13 キャプティテック連絡会議
- 1/14 ベンカン商品紹介映像撮影会
- 1/19 東京都住宅省エネルギー施工講習会
- 1/22 東京みらい会UB/SK現調研修
- 1/26 インストール研修/エアコン施工
- 1/26 JAXA電力ピークカット制御技術デモ
- 1/27 インストール研修/システムバス現調
- 1/28 石友リフォームサービス様社員研修
- 1/29 寿産業様省エネ機器ミーティング

「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス」(ZEH)とは

経産省・国交省・環境省資料参照

【ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス実現の背景】

経産省・国交省・環境省は、3省共同で「低炭素社会に向けた住まいと住まい方推進会議」を2010年(平成22年)6月3日に設置し、その中で、目指すべき将来像として、住宅において、2020年までにZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)を標準的な新築住宅とし、2030年までに新築住宅の平均でZEHを実現する構想としています。

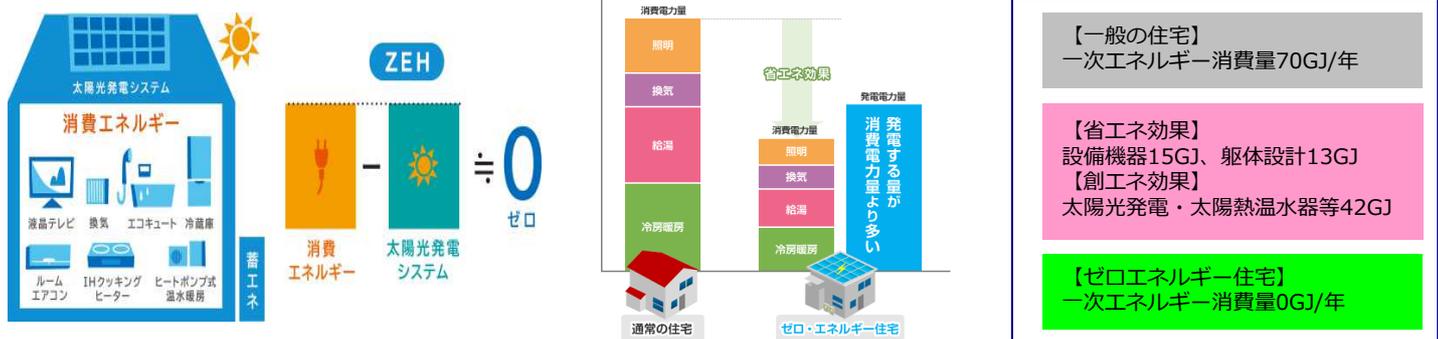
【ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスとは】

ZEHとは、エネルギー利用の方法を工夫することで、一次エネルギーの年間消費量がゼロまたはおおむねゼロになる住宅を指します。エネルギー利用の工夫の具体的な方法としては、高断熱や高効率照明などによる省エネルギー性能の向上のほか、太陽光発電システムや太陽熱利用といった再生可能エネルギーの導入などがあげられます。

【海外のZEH目標は】

米国：新築住宅は2020年までにZEH実現(年間のエネルギー消費量がネットでゼロになる住宅)

EU：新築住宅は2020年までにZEH実現(年間の非再生エネルギーの正味利用がゼロとなる住宅)



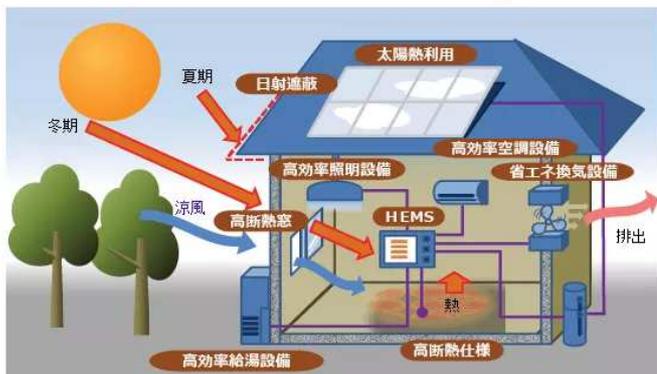
【ゼロエネルギー住宅への補助金】

平成26年度ネットゼロエネルギーハウス支援事業(補助金)は終了しましたが、新築では「地域型住宅グリーン化事業」(平成27年度補正、平成28年度予算)において、ゼロ・エネルギー住宅に対して最大165万円の補助金がだされます。

リフォームでは「長期優良住宅化リフォーム推進事業」のなかで、省エネ性において著しい性能基準を満たした工事に対して上限200万円の補助金がだされます。

ZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)

目標
2020年…標準的な新築住宅でZEH実現
2030年…新築住宅全体の平均でZEH実現



HEMSに依る一次エネルギー消費量の制御

* 東雲みらいエコリフォームセンター内のスマートハウスのゼロエネハウス化を実現し、HEMSでの制御もご覧いただけます

「マンションの住み替えチェック7」

一級建築士 荒尾 博

今回も既存マンションの電気関係について考えて見ます。今回は、各戸のアンペアについて解説しました。昭和年代から平成初期の場合、30A(アンペア)が意外と多かったのですが、その後は、電子レンジや大型テレビ、パソコンなど電気の需要が増えて、ブレーカーが飛ぶなどから40A、50Aなどアップしたい希望が増えているのです。しかし、リフォームに当たって事前に調べておくことが重要なポイントがあります。

1. マンション全体の受電容量を調べる

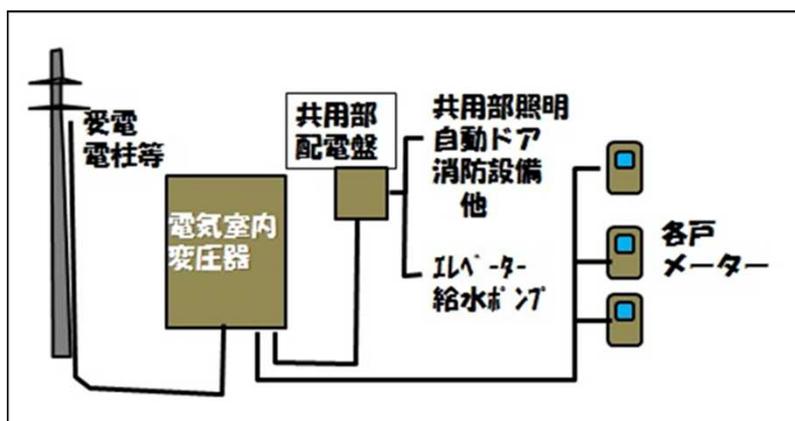
マンションの各戸の分電盤ですが、画1のようにサービスブレーカーから漏電遮断機である漏電ブレーカーを経て各配線の安全ブレーカーの構成になっています。よくある話で一つのコンセントからたこ足配線でヒーターとコタツを同時使用でブレーカーが切れる場合は、安全ブレーカーの一つが切れるだけで、全電気が切れるわけではありませんが、30A契約でエアコン2台に電子レンジなど同時使用で切れる場合はサービスブレーカーが着れます。また、ショートさせたりした場合は漏電ブレーカーが切れ、この場合は原因がショートなど特定できない場合は直ちに電力会社に連絡した方がよいとなります。

話が逸れましたが、サービスブレーカーがよく切れる場合に、室内で使用している機器が多いということや40Aとか50Aへアンペアをあげる必要があるということになります。ここで問題があるのです。

それはマンション新築前の基本設計仕様まで関わる問題で、各戸の契約電気容量を30Aと定めて仕様が決まった場合、100戸のマンション全体では、 $30 \times 100 + \text{共用} + a$ で総受電量を決め、幹線設計をして変圧器、配電盤、幹線ケーブル、電力計、分電盤が設置されています。各戸30Aの設定の3LDKで多いプランでは南側のリビングダイニングと和室にはエアコンの専用コンセントがありますが、北側になる2つの洋室には専用コンセントは設定されていない事例が多いのです。確かにマンションは戸建てと比較して暖かく北側でも小さな暖房機で対応できたかも知れませんが、温暖化の影響で夏は暑くエアコンを付けたくなるのです。さらに、エアコンだけでなく電子レンジやパソコンなど家電関連機器が増えてとてもとても足りなくなっているのです。



画1 各戸分電盤



画2 マンションの受電設備

そこで、建設当時、30Aを上限としていた100戸のマンションを、全戸40Aまでアップして契約できるようにしたいという場合ですと、その差は、1000A……単純に考えてもその余裕はなく、可能にするには電力会社からの受電方法の変更、変圧器の新設と電気容量アップに適応した幹線ケーブル等の更新が必要になってしまうのです。

つまり、リフォームでオール電化にしたいとか、要望を聞いて実行しようにも、既存マンションでは、新築時に全体が受け取れる電気容量には、上限があるので各住戸が際限なく契約容量をアップすることはできない可能性が多くあることを事前に調べておく必要があるのです。

東雲のみらいエコリフォームセンターにあるスマートハウスが改修されて「ゼロエネルギーハウス」に生まれ変わりました。

リフォームでもゼロエネルギー住宅が実現できることを提案しています。

三菱電機さんの協力でHEMSとHEMS対応の設備機器を設置し、電気の見える化やコントロールが体験できます。

また、断熱リフォームの施工方法などもご覧いただけます。

東京都江東区東雲 2-9-7
9時～17時、土日祭日は休館

ご見学は、当社セールス経由で承ります。



東雲だより 2月号”編集後記 ☆ドルチェ☆ — 鴨鍋 —

先日友達の家に遊びに行った時、おいし〜い鴨鍋をご馳走になりました。鴨鍋と言っても鶏鍋のように鴨肉をグツグツ煮込んで食べるのではなく、ブロック肉の表面をフライパンでサッとあぶって、それを薄めにスライスしてしゃぶしゃぶにして頂くんです☆あと欠かせないのがクレソン。今までファミレスのハンバーグの付け合わせにちょこっと添えてあるクレソンにしかお目に掛かった事が無かったので、大量に摂取する機会がやって来るとは！最早どんな味かも忘れていたんですけど、昆布出汁でサッと湯がいてしゃぶしゃぶした鴨肉と一緒にポン酢で食べたら、あまりの美味しさに一口で虜になってしまいました！鴨って凄く脂が出て、鍋に味が広がるんです。それなのに案外あっさりしていていくら食べてもしつこくないし、更にクレソンが水菜のようにシャキシャキした歯ごたえでクセも無くて最高！！日本酒にも白ワインにも合う感じです。もちろんメの雑炊は鴨の旨味を余すところ無く吸い込んでくれていて、ため息が出ちゃう美味しさでした。



鴨肉とクレソン

さて、一度ハマるとなかなか抜け出せない性格の私は、それからと言うもの鴨鍋と出会って10日程しか経っていないのにあの味が忘れられず、独り鴨鍋を既に3回もしています。クレソンの売っているスーパーを探し出して、鴨肉のために遠くまで出向き、日頃やりもしない日高昆布から出汁を取る作業を毎度丁寧に言い、その度に舌鼓。ああ〜この世は美味しいものに溢れている〜・・・♪美味しいものを食べると何でこんなに幸せになるんだろう☆本当にほっぺが落ちるくらい美味しいので、新しい鍋の開拓に気になった方はお試しあれ！



しゃぶしゃぶしているところ

佐藤 深雪

**** 材料 ****

- ・鴨ブロック・・・適量
- ・長ネギ・・・1本
- ・人参・・・1本
- ・クレソン・・・大量
- ・ポン酢&お好みで柚子胡椒

- 1、鴨をフライパンであぶる。出て来た脂で、2cmの長さに切っておいた長ネギを焼き色が付くまで焼く。鴨は表面をサッとあぶったら薄くスライスする。人参はピューラーで皮を剥くように、実も薄くスライスしておく。
- 2、昆布(無ければ粉末)で出汁を取ったところに1のネギを入れ、一煮立ちさせたらクレソンと鴨と人参をしゃぶしゃぶして、ポン酢と柚子胡椒で頂く。以上。

お問い合わせは

みらいエコリフォームセンター

〒135-0062 東京都江東区東雲2-9-7 東京配送センター内
TEL.03-3527-5900<代> 営業日▶月～金9:00～17:00 土:応相談

●お問い合わせは

TEL.03-3527-5628 FAX.03-3527-6070

